

～地域で頑張る農業者をご紹介します！～

輪島市 のと栄能ファーム 代表 山下祐介

「奥能登・金蔵(かなくら)の水田風景を守りながら、新しいビジネス展開を！」

山下祐介さん プロフィール

- 祖父母が農業を営んでいた奥能登・金蔵地区の美しい棚田を守りたいとの一念で、H28年に金沢市から移住し就農。
- 就農前は、田植えや稲刈りの手伝い程度の経験しかなく、ゼロからのスタートであった。
- 経営内容:水稲 10.5ha ミニトマト 2.8a



のと栄能ファーム
代表 山下祐介さん

取組の課題と解決策

- 棚田での米作りはコストや労力がかかるが、粘土質土壌、山からの湧水、昼夜の寒暖差等の当地の特徴を生かし、努力と工夫を重ねて栽培した米は、消費者から高評価を得ている。
- 生産したコメは、特徴ある地名を生かした「金蔵米蔵金(かなくらまいぞうきん)」というネーミング、金の延べ棒のような商品パッケージや輪島塗漆器とのコラボ販売等によるブランド化に取り組んでいる
- 「金蔵米蔵金」は東京銀座の「いしかわ百万石物語・江戸本店」でも販売されており、購入した消費者から贈答用の注文が入ることもある。
- 静岡県のNPO法人と提携し、「こどもの居場所づくり」を応援するため、寄付金付きの米を販売。
- 米の需要拡大のため、需要が拡大傾向にある米粉用米の生産と米粉を製造する加工施設の建設を予定。



目を見張る金蔵
地区の棚田風景



金蔵地区で生産
した金蔵米蔵金

将来の夢

- 高齢化等による離農が続く条件不利地の金蔵地区の農地保全のため、地域の農業者等の理解を得つつ、今後需要が見込める米粉用米の作付拡大と地域内での製粉、更には米粉100%ベーグルの製造・販売を行うカフェの開業等による米粉のビジネスモデルを構築したい。



輪島塗漆器店
とのコラボ